

令和 8 年度以降の生息域内保全の取組について

1. 概要

第三期ライチョウ保護増殖事業実施計画（案）に基づき、令和 8 年度以降の保護増殖事業の実施内容について項目出しを行い、令和 8 年度実施計画の作成等につなげるもの（環境省事業のみ）。

2. 内容

(1) 中央アルプス

1) 生息状況調査

野生復帰個体等生存確認調査、なわばり調査、孵化調査、雛の生存確認調査及び標識調査などを行い、個体群の動態を確認していく。

2) 遺伝的多様性の解析

①遺伝的多様性解析のための血液採取

②採取した血液の解析

人の手で復活させた中央アルプス個体群の遺伝的多様性の解析を行う。飼育下繁殖個体群や乗鞍岳等の個体群との比較を行う。

3) 捕食者の効率的な捕獲技術の確立

引き続き、捕食者の捕獲を行い、山小屋等の人間活動に由来して居着いたテンやキツネの効率的な捕獲技術を確立し、本来の高山帯の生態系を取り戻す手法の確立を行う。また、捕獲したキツネに発信機を装着し、高山でのキツネの生態を解明する。

4) サルの追い払い対策

引き続き、高山帯におけるサルの追い払い対策を行う。また、登山者にもサル追い払いへの協力を求めていく。

5) 登山者と連携した目撃情報収集

中央アルプスライチョウサポーターズからの情報やヤママップとの協定による目撃情報収集など一般登山者からの情報によって、生息状況の整理ができるよう仕組みづくりを進める。

(2) 南アルプス（白根三山・仙丈岳）

1) 生息状況調査

引き続き生息状況調査を継続する。

2) 捕食者対策

新規わなの開発や山小屋との連携体制・技術継承を進める。

3) 新たな体制の整備

協議会等の地域で行うライチョウ保全体制について、体制整備を進める。

4) 目標を定めたライチョウ保全の実施

対策を行う山岳において、山小屋や一般登山者などが地域で共有できるようなライチョウ保全の目標を検討していく。

5) 捕食者対策リーフレット等の作成

これまでの捕食者対策事業のとりまとめと一般市民向けのリーフレットの作成を行う。

(3) 火打山

1) 生息状況調査

引き続き生息状況調査を継続する。

2) 生息環境改善事業

令和7年度に調査した新規候補地及びライチョウ平において、引き続きイネ科等植物の除去作業を行う。

(4) 乗鞍岳

1) 生息状況調査

引き続き生息状況調査を継続する。

2) 減少要因調査

文献整理、ヒアリングや現地調査などから、乗鞍岳の減少要因の調査を行う。

(5) 普及啓発の推進

1) 報告会等の開催

中央アルプスでの事業の成果やライチョウから見えてくる人と野生動物との付き合い方など、これからのライチョウ保全に必要な体制づくり（応援者の確保）も見据えた一般市民向けの報告会等を行う。

2) 撮影マナー等の普及

ライチョウを撮影する際のマナーについて、一般登山者等の共通理解となるよう普及啓発を進める。

(6) ライチョウ野生復帰実施マニュアルの作成

中央アルプスで2年間取り組んできた野生復帰プロジェクトについて、域外と域内から総括を行い、将来の再実施のための野生復帰マニュアルの作成を進める。